

トビタテ！留学JAPAN日本代表 プログラムに本校生徒が選ばれました

独立行政法人日本学生支援機構が募集する「平成30年度官民協働海外留学支援制度」(トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム {高校生コース}) に本校高校2年の齋藤向日葵さんが選ばれました。

このプログラムは、海外での「異文化体験」や「自主活動」を伴う留学を推奨することで多様な経験と自ら考え行動できるような体験の機会を提供するもので、「グローバル人材育成コミュニティ」に参画する企業等からの支援により創設されました。選ばれた生徒には留学に必要な費用の一部が奨学金等として支給されます。

齋藤さんは7月26日から29日までのロンドン滞在と7月29日から8月18日までの「exportise」への音楽留学を参加予定のプログラムとし、{高校生コース}の「スポーツ・芸術」分野でこの制度に応募しました。

選考に当たっては「書類審査」と「面接審査」が実施されました。書類審査の応募書類では「留学計画の概要」「留学を志す理由」「留学中の活動」「帰国後のエヴァンジェリスト活動(海外の魅力や留学経験をまわりに伝える活動)の概要」「自己PR」が課されます。齋藤さんはそれらの中で、音楽に対する熱い想いと海外での活動に対する意気込みを文章にし、また現地での具体的かつ詳細な活動計画を組み立て、帰国後のエヴァンジェリスト活動では「洗足生を留学生に！プロジェクト」と題して本校内での留学経験の伝達を企図した活動を計画し、提出しました。

自己PRでは「夢への第一歩を踏み出す留学がしたい！」というタイトルのもと、これまで自分が経験した学外活動(洗足学園では「他流試合」と呼んでいます)の経験からこの制度に応募した動機に至るまでの経緯を詳細に記載しました。また自分については「一番はなによりも、音楽が大好き！！なところ」という見出しのもとに、幼いころからの現在に至るまでの音楽経験で得たことについて熱意あふれる文章で語りました。

今後は6月の壮行会・事前研修を経て、7月に留学となります。齋藤さんの現地での留学体験に関しましては、留学後に本ホームページで報告をいたします。